

## ご使用のシリアル機器とパソコンが無線 LAN でリモート通信

ワイヤレスイーサネット / シリアルコンバータ

### DIFC-WERS2 生産終了



機能: **RS-232C** 無線 LAN, **RS-422** 無線 LAN, **RS-485** 無線 LAN, **IEEE802.11b** 準拠, **盤用** 取り付けタイプ, **~230** Kbps 通信速度

RoHS, オプション専用外付けアンテナ

- シリアルデバイスを無線 LAN に接続
- 今まで COM ポートを使用していたアプリケーションがそのまま使用可能
- IEEE802.11b に準拠
- アドホックモード及びインフラストラクチャーモードをサポート
- 電源のサージ保護をサポート
- ネットワーク環境及びポートマッピングの設定が一括で行えるユーティリティソフト付属
- RJ-45 ⇄ D-SUB9P オス シリアルケーブル (1m) 2本付属

DC15V 出力の AC100V 電源 **DCNV-AD4** もご用意しております  
**DCNV-AD4** は別途ご購入が必要です

同時購入のみのセット品をご用意しています

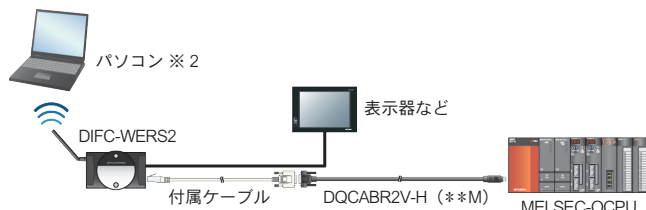
- (IFC) : MELSEC-QnA/A/A モーションコントローラ CPU 対応インタフェースケーブル ※1
- (IFC, 0) : MELSEC-QnA/A/A モーションコントローラ FX (ミニ DIN8P) CPU 対応インタフェースケーブル ※1
- (A1) : 専用外付けアンテナ マグネットタイプ
- (A2) : 専用外付けアンテナ ねじ止めタイプ

<例> DIFC-WERS2 (IFC) , DIFC-WERS2 (IFC, A1) , DIFC-WERS2 (IFC, 0, A2)

### 接続例

#### ●アドホックモード

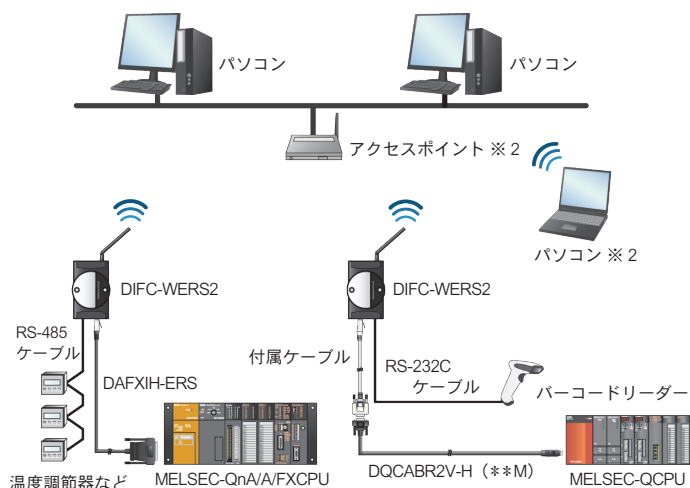
アクセスポイントを介さず、機器同士が直接通信を行う方式をアドホックモードといいます。アクセスポイントを必要としないためネットワークの構成が容易ですが、任意の2台の端末で通信を行うと他の端末間での通信ができなくなります。



#### ●インフラストラクチャーモード

アクセスポイントを介して通信を行う方式をインフラストラクチャーモードといいます。複数の端末が同時に接続できるため、一般的な無線 LAN の利用形態となっています。

インフラストラクチャーモードでは、アクセスポイントに装備されたイーサネットポートとハブなどをケーブルで接続し、無線 LAN と有線 LAN を融合することができます。

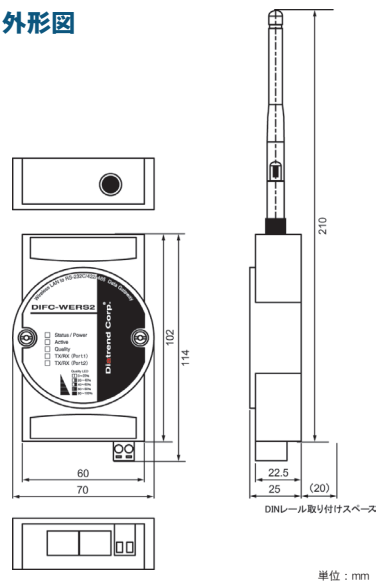


注) 1台の DIFC-WERS2 に2台以上のホストから同時に通信することはできません

### 仕様

プロトコル	TCP/IP	
ネットワーク	IEEE802.11b	
インタフェース	RS-232C, RS-422, RS-485	
シリアルポート数	2ポート	
コネクタ	RJ-45 シリアルポート	
通信速度	~230Kbps	
パリティビット	奇数、偶数、なし、スペース、マーク	
データビット	5、6、7、8	
ストップビット	1、1.5、2	
診断 LED	ネットワーク	アクティブ、リンク
	シリアル	送受信
	システム	ステータス
ユーティリティソフトウェア	設定ユーティリティ	
対応 OS	Windows 2000/XP/Vista	
電源	DC10 ~ 30V、サージ保護機能付	
消費電力	4W	
ケース	ABS、特製取り付け装置付	
取付方法	DIN レール、パネル取り付け	
動作温度	0 ~ 60°C	
保存温度	-20 ~ 80°C	
動作湿度	20 ~ 95% RH、結露なきこと	
保存湿度	0 ~ 95% RH、結露なきこと	

### 外形図



※1: (IFC)、(IFC, 0) オプションは、ケーブルが各2本セットになります  
 ※2: IEEE802.11b 無線 LAN に対応したパソコンまたはアクセスポイントをご使用ください